

ごみ・流木調査に向けて

1. ごみ・流木調査の目的

- 河川管理者や海岸管理者、市民団体等が流域圏で一体となって調査を実施する
- 出水後のゴミや流木の実態を把握し、情報共有する
- ゴミ等の状況を生物への影響や発生源の観点からも調査
- 自然分解されにくい人由来のゴミとともに、自然由来の流木やヨシの状況などを把握し、情報を蓄積することで、将来的な対策方法と対策場所、地域での対応方法（個別の対応もしくは連携）などを話し合えるような発展を期待する
- 矢作川流域圏での取り組みについて、他の流域の活動者等とも情報交流し、伊勢三河湾全体の漂着ごみへの対応を強化する



矢作川流域の連携のきっかけづくりとする

2. 調査 実施要項

日 程：2014 年の出水後 3 日以内

場 所：矢作川下流域（出水後、事務局の巡視により、場所を決定）

詳細の日程、場所は、出水後、事務局よりメールリングリストにて周知します。

（メールリングリストへの加入が必要になります。）

調査概要：自然由来ごみ（流木など）の量、発生源等の調査

人由来ごみの量、種類、発生源等の調査

メールリングリストへの加入希望・問い合わせ先

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6

国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄

TEL 0532(48)8107 FAX 0532(48)8100









E-mail makara-a85aa@cbr.mlit.go.jp

3. 調査方法

ベンチマーク写真を撮影する

- ・ゴミ等の集積代表地点を 10×10m 枠取りして写真を撮影し、ベンチマークと対比する。

ベンチマーク写真

| ゴミ量 | 見通しの良い状態 | ゴミ量 | 見通しの良い状態 |
|----------------------|--|---------------------|---|
| 20L ゴミ量 0【袋】 |  | 20L ゴミ量 2【袋】 |  |
| 20L ゴミ量 1/4【袋】 |  | 20L ゴミ量 4【袋】 |  |
| 20L ゴミ量 1/2【袋】 |  | 20L ゴミ量 8【袋】 |  |
| 20L ゴミ量 1【袋】 |  | 20L ゴミ量 16【袋】 |  |

出典：河川ごみ調査マニュアル（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 平成 24 年 3 月）

自然由来ごみをチェックする（調査票(2)-1）

- ・ゴミ等の集積代表地点 10×10m の中にある、自然由来のゴミの発生源を、目視で山、川、川（ヨシ）に分類し、その割合をチェックする。

人由来ごみをチェックする（調査票(2)-2）

- ・ゴミ等の集積代表地点 10×10m の中にある人由来のゴミを 20L ごみ袋に換算して（1×1m に並べる） ランク 0（0 袋）からランク 10（128 袋）までの 12 ランクで評価する。

目視によるゴミ量等の簡易判定（20L の目安）



出典：河川ごみ調査マニュアル（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 平成 24 年 3 月）

調査票 (1)

| 基本情報 | | 備考 |
|----------|-----------|---------|
| 調査日 | 平成 年 月 日 | |
| 調査時刻 | 午前・午後 時 分 | |
| 調査地点名 | | |
| 調査地点 k p | () Kp | 河川調査の場合 |
| 調査者 | | |
| 調査地点 | (地点に) | |

調査票 (2) - 1

| 流木調査項目 | 発生源別の流木の混在割合 | | | 調査地点 () |
|------------------|--|---|---------|-------------------------|
| 流木等の漂着状況 | 山 | 川 | 川 (ヨシ) | 代表地点 10×10 m 四方の目視による内訳 |
| | % | % | % | |
| 流木の特徴をチェック | A. 漂着物の状況 (時間経過) | | | () |
| | B. 人工林・自然林、その他の別 | | | () |
| 状況写真 | (遠 景) | | (近 景) | |
| 樹種が判別できたものの名前 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ | | | |
| 調査総評コメント欄 | | | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | | | | |

流木の特徴をチェック

| | | |
|------------------|---|------------------------------|
| A. 漂着物の状況 (時間経過) | 1 | 樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの |
| | 2 | 樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの |
| B. 人工林・自然林、その他の別 | 1 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林 |
| | 2 | まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木 |
| | 3 | 切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの |
| | 4 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等 |
| | 5 | その他 () |

調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映のPDCAサイクルにて運用。

調査票 (2) - 2

| ゴミ調査項目 | 該当欄にチェック | | 調査地点番号 () | |
|------------------|---------------------|---------------|-----------------|-----------|
| 人由来ごみゴミの種類 | チェックシート | 発見できたごみ | | |
| | | 生活系ごみ | 1. 飲料用プラボトル | 6. 飲料缶 |
| | | | 2. 食品の包装・容器・トレー | 7. 飲料ガラス瓶 |
| | | | 3. 紙バック | 8.ライター |
| | | | 4. ふた、キャップ | 9. その他生活系 |
| | 5. 袋類 (農業用以外) | | | |
| | 漁業系ごみ | 10. 釣り具 (オモリ) | 12. 釣り具 (ルアー等) | |
| | | 11. 釣り具 (針、糸) | 13. その他漁業系 (網等) | |
| | 事業系ごみ | 14. 木材等 | 16. 農薬、肥料袋 | |
| | | 15. 苗木ポット | | |
| その他 | 17. 硬質プラスチック片 | 18. ガラスや陶器片 | | |
| | 19. 発泡スチロール片 | 20. 金属片 | | |
| | 21. シート、袋の破片 | | | |
| 上記以外 | 名称 : () | 名称 : () | | |
| | 名称 : () | 名称 : () | | |
| ゴミの量 | ランク () | 目視・写真判定可 | | |
| 発生場所の参考記載の有無 | ・住所、電話番号、その他の記載 () | | | |
| 状況写真 | (遠 景) | | (近 景) | |
| | | | | |
| 調査総評コメント欄 | | | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | | | | |

生物への影響のあるごみ

4. 西の浜における調査の実施結果

第 18 回海部会 WG にて、ごみ・流木調査を実施（ニュースレターvol.2 参照）、調査結果は以下のとおり。



第 18 回海部会 WG ごみ・流木調査本調査結果

調査票 (1)

| 基本情報 | | 備考 |
|----------|-------------------|---------|
| 調査日 | 平成 26 年 6 月 15 日 | |
| 調査時刻 | 午前・午後 10 時 00 分 | |
| 調査地点名 | 愛知県田原市西の浜海岸 | |
| 調査地点 k p | (-) Kp | 河川調査の場合 |
| 調査者 | 山部会 名、川部会 名、海部会 名 | |
| 調査地点 | (地点に) | |



調査票 (2) - 1

| 流木調査項目 | | | | 調査地点() |
|------------------|--|------------|------------|---|
| 流木等の漂着状況 | 発生源別の流木の混在割合 | | | 代表地点 10×10m 四方の目視による内訳 |
| | 山 | 川 | 海 | |
| | 1% | 10% | 25% | |
| 流木の特徴をチェック | A. 漂着物の状況 (時間経過) | | | (2) |
| | B. 人工林・自然林、その他の別 | | | (4) |
| 状況写真 |  <p style="text-align: center;">(遠 景)</p> | | |  <p style="text-align: center;">(遠 景)</p> |
| 樹種が判別できたものの名前 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不明 | | | |
| 調査総評 コメント欄 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 山・川由来の樹木は広葉樹であった。 ・ 海由来のものは海藻であった。 | | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | | | | |

流木の特徴をチェック

| | | | |
|------------------|---|------------------------------|----------|
| A. 漂着物の状況 (時間経過) | 1 | 樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの | 無 |
| | 2 | 樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの | 有 |
| B. 人工林・自然林、その他の別 | 1 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林 | 無 |
| | 2 | まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木 | 無 |
| | 3 | 切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの | 無 |
| | 4 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等 | 有 |
| | 5 | その他 () | |

調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映のPDCAサイクルにて運用。

調査票(2)-2

| ゴミ調査項目 | 該当欄にチェック | 調査地点番号() | |
|--------------------------|--|-----------------|----------------|
| 人由来ごみゴミの種類 | チェックシート | 発見できたごみ | |
| | 生活系ごみ | 1. 飲料用プラボトル | 6. 飲料缶 |
| | | 2. 食品の包装・容器・トレー | 7. 飲料ガラス瓶 |
| | | 3. 紙パック | 8.ライター |
| | | 4. ふた、キャップ | 9. その他生活系 |
| | | 5. 袋類(農業用以外) | |
| | 漁業系ごみ | 10. 釣り具(オモリ) | 12. 釣り具(ルアー等) |
| | | 11. 釣り具(針、糸) | 13. その他漁業系(網等) |
| | 事業系ごみ | 14. 木材等 | 16. 農薬、肥料袋 |
| | | 15. 苗木ポット | |
| | その他 | 17. 硬質プラスチック片 | 18. ガラスや陶器片 |
| | | 19. 発泡スチロール片 | 20. 金属片 |
| | | 21. シート、袋の破片 | |
| 上記以外 | 名称:() | 名称:() | |
| | 名称:() | 名称:() | |
| ゴミの量 | ランク 5 (20L ごみ袋 4袋) | 目視・写真判定可 | |
| 発生場所の参考記載の有無 | ・住所、電話番号、その他の記載 () | | |
| 状況写真 (遠景は調査票(2)-1と同じ) | | | |
| 調査総評 コメント欄 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類としては、飲料用プラボトル、袋類が多い。 ・佐久島でのプレ調査時と比べ、ごみの量が少なかった。 ・海岸沿いには砂だけでなく、礫も多く見られた。 | | |
| 現場で感じた解決のためのアイデア | <ul style="list-style-type: none"> ・陸側に近い部分には、農薬の袋や苗木ポットも散乱しており、調査箇所を縦断的に複数設定することも必要である。 ・マスメディアと連携したPRにより、参加者を拡大することも考えられる。 ・ごみを本質的に減らす対策を考えていくことも必要である。 | | |

生物への影響のあるごみ



発行日：平成 26 年 6 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

第 18 回海部会 WG を開催しました！

6 月 15 日に第 18 回海部会 WG を開催し、田原市の西の原海岸にて、ごみ・流木調査本調査を実施しました。

なお、今回 WG は、22 世紀奈佐の浜プロジェクト「西の浜エクスカージョン」と同時開催で実施しました。



日時：H26 年 6 月 15 日(日) 10:00 ~ 15:00
場所：田原市 西の浜海岸
参加者：30 名（事務局含む）

主な活動・会議内容

1：田原市の西の浜海岸にて、ごみ・流木調査を行いました



田原市の西の浜海岸にて、ごみ・流木調査を行いました。流木、人由来ごみの 2 種類の調査について、山・川・海メンバー合同で話し合いながら実施しました。



西の浜海岸



10m 四方範囲を調査します



流木の種類をチェック



人由来ごみを集めます



種別に分類

調査結果は裏面に記載しています。

2：西の浜エクスカージョンにも参加しました



本調査と合わせて、西の浜エクスカージョンを実施し、西の浜海岸清掃や伊勢・三河湾流域学習会を実施しました。学習会では、矢作川流域圏懇談会の活動報告として、山・川・海の活動報告を行いました。



始まりの会にて、亀の子隊より海岸清掃の説明



裕氏より矢作川「川会議」の活動報告



洲崎氏より森の健康診断の活動報告



青木座長より海部会の活動報告

お問合せ

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄

TEL 0532(48)8107 / FAX 0532(48)8100

* 矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。







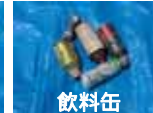



本調査結果

10m 四方内の流木の割合は、山発生のもの 1%、川発生のもの 10%、海発生のもの 25%であった。
10m 四方内の人由来ごみは、20L ごみ袋 3 袋分（ランク 4～5）で、内訳は以下ようになった。

< 流木の状況 >

| | | | |
|----------------------|---|------------------------------|---|
| A. 漂着物の状況 (時間経過) | 1 | 樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの | 無 |
| | 2 | 樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの | 有 |
| B. 人工林・自然林、 その他の別 | 1 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林 | 無 |
| | 2 | まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木 | 無 |
| | 3 | 切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの | 無 |
| | 4 | 根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等 | 有 |
| | 5 | その他() | |

< 人由来のごみの状況 >

| | |
|------|--|
| 写真 |         |
| 種類 | 【生活系ごみ】 飲料用プラボトル、食品の包装・容器・トレー、ふた、キャップ、袋類（農業用以外）、飲料缶、飲料ガラス瓶、ライター、その他生活系 【漁業系ごみ】 釣り具（針、糸）、釣り具（ルアー等）、その他漁業系（網等） 【事業系ごみ】 木材等 【その他】 硬質プラスチック片、発泡スチロール片、シート、袋の破片 |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類としては、飲料用プラボトル、袋類が多い。 ・佐久島でのプレ調査時と比べ、ごみの量が少なかった。 ・海岸沿いには砂だけでなく、礫も多く見られた。 |

振り返りでの主な意見

今後のごみ・流木調査への提案について

- ・ 水際と堤防沿いでは、ごみの種類が異なるので、網羅的に調査をしてもいいのではないかと。今回の調査エリアには、農薬の袋や苗木ポットはなかったが、堤防沿いには多く見られた。
- ・ 今後、ごみの発生源調査を行ってもいいと思う。
- ・ FM愛知などのマスメディアとの連携により、広報を行うことで、参加者が多く集まると思う。



海岸清掃に集まった人たち

伊勢三河湾流域学習会（西の浜）について

- ・ 西の浜では、亀の子隊の活動が継続されていることがいい。ただし、子どもに注射器を拾わせていいのかという問題もあると思う。
- ・ ごみを拾っても、台風が来れば、もとに戻ってしまう。そのために、ごみをどうしたら減らせるのか、根本的な対策についても考えていかなければならないと思う。
- ・ ごみ調査は、砂浜という場所があるから実施できることを改めて感じた。



伊勢三河湾流域学習会に集まった人たち

今後のスケジュール（予定）

次回 海部会第 19 回 WG を 7 月 22 日（火）に開催します

内容は、ごみ・流木調査の今後の進め方、子どもの干潟体験、干潟造成について話し合う予定です。

